

発話障害者が声を使って入力する音声合成システムの開発と実証

事業概要（フェーズ 2）

内容

発話障害による不明瞭な発声を文字に変換する音声認識器を開発し、明瞭化音声合成器と連携するシステムを実現した上で、当事者評価により有効性を示す。

背景・経緯

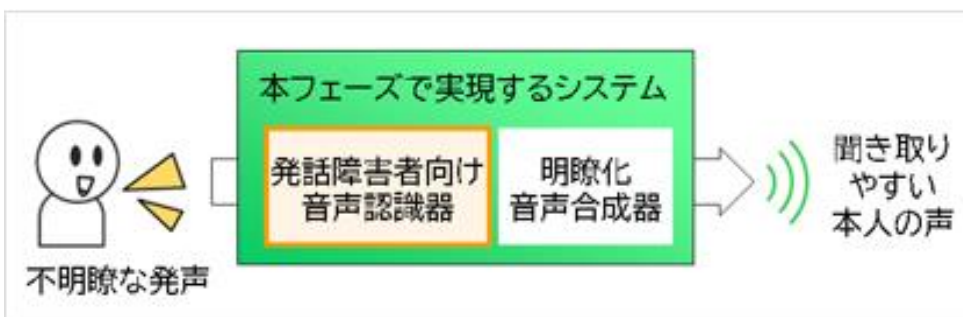
発話障害者向け明瞭化音声合成器を開発し、PoC・F/Sを行った結果、機器普及のためにはより文字入力しやすい手段が必要であることがわかった。

狙い、波及効果

発話障害を持つ方QOLの向上・社会参加の促進、および、支援者・介護者の負担軽減・人材不足解消を目指す。

事業化

事例創出により有効性周知を促進するとともに、医療・リハビリ・介護系機関と連携した提供モデルを実現していく。



株式会社ヒューマンテクノシステム

本社所在地	東京都中央区
設立／資本金	2015年2月／5,000万円
従業員数	89名（2024年5月現在）
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータシステム・ソフトウェアに関するコンサルティング・開発・保守・運用・販売スローライフビジネス支援など。 労働者派遣事業

その他機関

- 豊橋技科大：共同研究先
障害音声に対する音声認識技術の開発・整備
- 東名古屋病院：共同研究先・実証機関
神経難病等に関する障害音声データ収集・当事者評価支援
- 日本医療大学：共同研究先・実証機関
脳血管障害等に関する障害音声データ収集・当事者評価支援
- iCareほっかいどう：共同研究先・実証機関
脳性麻痺他 先進事例の創出による新合成器の評価
- 大和大：研究協力者
先行研究（聴覚障害者向け音声認識）からの助言